

●事業の概要

この事業は、社会福祉法人京都地の塩会つくし保育園とNPO法人きょうとグリーンファンドが協力して、京都伏見区にある「つくし保育園」に、市民共同で太陽光発電設備を設置したものです。このおひさま発電所は、市民からの寄付、つくし保育園の資金、きょうとグリーンファンドのおひさま基金、東洋ゴムグループ環境保護基金、合同会社きょうと情報カードシステム(KICS-LLC)の支援金、NEDO(新エネルギー・産業技術総合開発機構)からの共同研究負担金で設置しました。また、オムロン株式会社のご支援もいただきました。京のアジェンダ21フォーラム・京エコロジーセンター・京都府地球温暖化防止活動推進センター・特定非営利法人KES環境機構の後援と、NPO法人気候ネットワーク・NPO法人環境市民のご協力をいただきました。設置後は、つくし保育園・きょうとグリーンファンドが協力して環境に関する学習を進めていきます。

●発電所データ

設置場所：京都市伏見区
社会福祉法人 地の塩会 つくし保育園
設置日：2008年2月23日
発電能力：4.48kW
発電量：約4,000kWh/年
総事業費：840万円
寄付額：78.5万円(150件/個人・団体)
寄付募集期間：2007年10月1日～2008年3月20日
支援：合同会社きょうと情報カードシステム(KICS-LLC)
寄贈：オムロン株式会社より ソーラーパワーコンディショナー
助成金：東洋ゴムグループ環境保護基金 100万円
共同研究費：NEDO/太陽光発電新技術等フィールドテスト事業 428万円

●社会福祉法人 京都地の塩会 つくし保育園

つくし保育園は、1970年4月の開園以来、多くの皆さまのご支援・ご協力によって今年38年目を迎えました。自然豊かな園庭はたくさんの実のなる木々に囲まれています。これは開園当初より「緑を育てる保育」を目標に野菜や草花を育て、木を植えてきた結果です。この「緑を育てる保育」については入園案内では「地球上の緑が激減している今、緑を育てることは、酸素やオゾンを増やし、地球の温暖化を防ぐことにつながります。子どもたちの未来のために住みよい環境を残したい。自分のことばかりでなく、友だちのこと、隣人のこと、地球全体のことも考えられる子どもに成長してほしいと願っています。」と記しています。今回、「おひさま発電所」を保育園に設置できたことは、こうしたこれまでの保育実践の延長線上にあります。これを機会に改めて子どもたちの豊かな未来に思いをはせたいと願っています。

●合同会社 きょうと情報カードシステム(KICS-LLC)

KICS-LLCは、商店街、同業種組合を含めた44組合1300加盟店を擁する中小事業者が構成する日本最大規模の地域情報化団体です。私たちが住む京都の地に恩返しができる……との思いから、年間事業益の一部を原資として平成9年より社会還元事業に取り組んできました。エコロジー問題がささやかれる昨今、KICSもエコを通して還元事業を行うべく「おひさま発電プロジェクト」に協力させていただこうと考えました。

●オムロン株式会社

オムロンは、事業活動にともなう環境低減に取り組む一方で、環境保全に役立つ製品・技術の創出にも取り組んでいます。幼稚園や保育園へ市民共同の発電所をつくり、地球温暖化防止と子供たちへの環境教育につなげるというNPO法人きょうとグリーンファンド様の趣旨に賛同し、当社のソーラーパワーコンディショナーを寄贈させていただくことになりました。地域の多くの方々に、環境に対する配慮を身につける機会になっていくことを願っています。

●京都環境コミュニティ活動(KESC)プロジェクト

KESCは、地域において事業者、学校、住民などの各主体が協力して、環境問題を解決する仕組みづくりを目指しています。つくしおひさまプロジェクトには、社会貢献活動に取り組む事業者と、NPO、京のアジェンダ21フォーラム・京エコロジーセンター・京都市で構成する、「市民共同おひさま発電所づくり」のチームが参加しました。2007年度「市民共同おひさま発電所づくり」参加事業者(順不同)公栄運輸株・京都電測株・科研製菓株・株コーフク・南村田堂

●特定非営利活動法人 きょうとグリーンファンド

きょうとグリーンファンドは、省エネ型の暮らしと社会をめざしながら、自然エネルギーの普及を進めています。省エネに取り組みながら積み立てた「おひさま基金」を活かして、市民参加で地域の保育園や幼稚園などに、環境学習の拠点となる「おひさま発電所」をつくっていくのです。「環境のために何かをしたい」と考えている人たちが、無理なく続けて参加できる仕組みで、次の世代に豊かな地球環境を手渡したいと考えています。ぜひ「おひさま発電所」づくりにご参加ください。



■社会福祉法人 京都地の塩会 つくし保育園

〒601-1336 京都市伏見区醍醐柏森町25
電話：075-571-7673 FAX：075-573-7331
E-mail：bz619105@bz01.plala.or.jp
URL：www.tsukushikko.com

■特定非営利活動法人きょうとグリーンファンド

〒600-8104 京都市下京区五条通り高倉西入
万寿寺町143 いづつビル6階
電話/FAX：075-352-9150
E-mail：info@kyoto-gf.org
URL：http://www.kyoto-gf.org

この冊子は、京グリーン電力と、グリーン電力証書システムによる自然エネルギーを使用し、大豆油インキで印刷しています。



2008年4月発行



2008年2月23日

つくし保育園に
おひさま発電所ができました!
つくしおひさまプロジェクト

この事業は東洋ゴムグループ環境保護基金(大阪コミュニティ財団)の助成を受けました。

つくし保育園におひさま発電所が設置されました。多くの方々のご賛同・ご協力のたまものと感謝しております。改めてお礼を申し上げます。

私がつくし保育園に「おひさま発電所」を設置したいと思いましたが、幼いころから地球の環境やエネルギーの問題に関心をもってほしいということはもちろんのことですが、このことを通して自分は誰かや何かとつながって生きているということを感じ取ってほしいと願っているからです。

子どもたちはおひさま発電所を通してさまざまなことを学んでいきます。自分たちが今生きている地球について学びます。そして、その学びは、きっと子どもたちの小さな行動・実践を生み出していくでしょう。そのようにして、子どもたちは、自分という小さな存在が地球という大きなものの未来に深く関わっているということを感じとっていくにちがひありません。

人は誰かとつながって生きている。そこに命の意味と内容があると思います。そして、人は誰かとつながって生きているという感覚がその人を支え、生かすのではないかと思うのです。

地球の環境やエネルギーのことを共に学びながら、また命と命のつながりについても思いを馳せていきたいと願っているのです。

つくし保育園おひさま発電所開設、おめでとうございます。

つくし保育園とのご縁は、ある保護者のお母さんから始まったと聞いております。きょうとグリーンファンドのおひさま発電所は11機目となりますが、毎回さまざまな方とのつながりがあり、設置にいたっています。

今回は、京のアジェンダ21フォーラムで活動されている企業グループの方々が、支援の輪に加わってくださり、環境学習も継続的にお手伝いいただくということで、心強い限りです。「国際ソロプチミスト京都-わかば」から助成をいただいた「どんぐりプロジェクト」も始まりました。このように、設置後の環境学習にも関心が寄せられ担い手が増えてきたことは、子どもが設置と学習を車の両輪として進めてきたことに対する理解が広がってきたものと、大変喜ばしく思っています。

子どもたちが牛乳パックに埋めたどんぐりは、子どもたちが育てて来年には苗木となり、山に植えられます。「山にある木は誰が植えたのかな?」「ご先祖さま」と答えてくれた子どもたちが、未来の担い手です。子どもたちに手渡す健やかな地球の未来に思いを馳せながら、きょうとグリーンファンドはできる限りのお手伝いを続けて行く所存です。みなさまのご支援をこれからもどうぞよろしくお願いいたします。

おひさま発電所ができるまで

バザー



太陽の力で動く電車で、みんなの視線が集まります。



子どもたちにも分かりやすい温暖化についての紙芝居。みんなの未来のためにおひさま発電所は大切な役割があるんだね。


「わかば・かんきょうきょうしつ」どんぐりをうえよう!



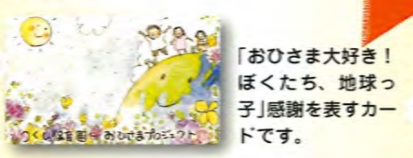
「みんなが飲んでいる水はどこから来てるかな?」まず、森林の大切さを学びました。




「大きくなってね」の願いを込めてどんぐりを埋めました。大きくなったら、山に植えに行こうね。「国際ソロプチミスト京都-わかば」の助成で開かれました。



「子どもたちの豊かな未来のために……」このちらしで、参加を募りました。



「おひさま大好き! ほくたち、地球っ子」感謝を表すカードです。



地域の未来のために……とポスターで呼びかけました。

点灯式



太陽光パネルの裏に思いを込めて名前を書きました。「頑張って電気を作ってネ!」



うさぎのシロちゃん、クロちゃんが様子を見る人形劇に地球を守るヒントがたくさんつまっていました。



元気いっぱいの歌声はおひさま発電所の幕開けにぴったり。



みんなで楽しみながらも真剣にお話を聞いています。



いよいよ点灯! カブラで子どもたちが積み上げた保育園のシンボル「つくし」が、おひさまのパワーで光ったよ!



みんな大注目! 何が出てくるのかな?



おひさまパワーを教えてくれる表示盤だね! 晴れた日には地球を彩る緑色の光もキラキラ輝きます。

普段の保育から

お米作り



みごとに稲穂、かがしが見守ります。



稲をすいてます。縄をなって干し柿作りに使います。



みんなで田植えをしました。



稲を干しています。

